

実績概要 (ホームページ掲載用)

研究又は活動のテーマ	宮崎版インフラメンテナンスに携わる技術者の再教育
助成事業者	宮崎大学
代表者	森田千尋
<p>(目的)</p> <p>インフラ構造物の老朽化が叫ばれる中、地方においては橋梁保全業務に携わっている技術者が少なく、点検に関する知識を持ち合わせていない場合も少なくない。そこで、宮崎県内の橋梁保全業務に携わる社会人の学び直しとして、自治体職員および建設技術者を対象とした、橋梁点検技術者の養成プログラムを実施した。</p>	
<p>(概要)</p> <p>本活動グループは、長崎大学が実施している「道守」養成講座の道守補コース（橋梁点検講座）を、2017年から宮崎で実施している。本講座は、国土交通省に技術者資格登録（コンクリート橋、鋼橋およびトンネルの点検の担当技術者）された養成プログラムであり、本年度は以下の内容で実施した。</p> <p>【期 間】 令和5年12月7日(木)～12月15日(金)の内の5日間 【応募者数】 20人 【受講者数】 20人 【実施場所】 宮崎大学工学部講義棟，工学部土木工学実験棟，県内現場（国土交通省宮崎河川国道事務所および宮崎県県土整備部より提供） 【カリキュラム】 講義32（座学14，演習8，実習10）時間＋試験1時間 【講師陣】 宮崎大学工学教育研究部，工学部教育研究支援技術センター，鹿児島工業高等専門学校，長崎大学大学院，宮崎県県土整備部，三菱重工パワー検査(株)，基礎地盤コンサルタンツ(株)，(株)インフラ・ラボ，(株)共同技術コンサルタント</p> <p>定員15人で募集を行ったが、県内各地から定員を上回る20人の応募があった。演習、実習の収容能力を検討した結果、今年度は全員を受講生とした。受講生からの評価は概ね好評であり、「初めて器具に触れることができた」「橋梁点検に生かせそう」「座学・演習・実習すべて分かりやすく、すごく身になった」「実際に現場で構造物の点検や評価が行える講習はなかなか無いので職場で周知したいと思う」などの意見があり、事業の継続が望まれている。一方で、合格率の低下、平日開催や比較的業務が閑散期の春頃の開催が毎年望まれており、改善が必要と考えている。宮崎においても橋梁点検技術者を認定できるシステムが必要不可欠であり、そのためには、宮崎大学、宮崎県、および関係機関と検討し、宮崎独自の橋梁保全業務に携わる社会人の学び直し講座を継続して実施できる体制を構築したい。</p>	